



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年2月9日

上場会社名 株式会社じげん 上場取引所 東
コード番号 3679 URL <https://zigexn.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員 CEO（氏名） 平尾 丈
問合せ先責任者（役職名） 取締役 執行役員（氏名） 波多野 佐知子（TEL） 03(6432)0350
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	20,891	12.7	5,394	4.9	4,161	1.1	4,192	2.1	2,889	2.9	2,893	3.3	2,898	3.1
2025年3月期第3四半期	18,537	9.6	5,143	7.1	4,118	6.7	4,106	6.8	2,807	1.2	2,800	0.9	2,812	2.3

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第3四半期	28.95		28.94	
2025年3月期第3四半期	27.47		27.46	

（注）EBITDA＝営業利益（損失）＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負ののれん発生益

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	39,516	21,363	21,397	54.1
2025年3月期	37,573	19,951	19,980	53.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	0.00	—	10.50	10.50
2026年 3 月期	—	0.00	—		
2026年 3 月期(予想)				11.00	11.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
通期	28,000	10.0	7,430	4.9	5,880	3.9	5,880	3.9	4,020	3.8	円 銭 40.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
- 新規 3社 (社名) エニーキャリア株式会社
株式会社アルファスタッフ
Quantum Reservation Pte. Ltd.

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記
期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	110,000,000株	2025年3月期	111,700,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	10,495,255株	2025年3月期	11,273,155株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	99,930,166株	2025年3月期3Q	101,918,854株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業は、ライフサービスプラットフォーム事業とその他で構成されております。

ライフサービスプラットフォーム事業は主力事業である「Vertical HR」、「Living Tech」と、安定的なキャッシュ・フローを生み出す「Life Service」から構成されており、それぞれの状況は以下のとおりです。

a. Vertical HR

Vertical HRは、株式会社リジョブ（美容、ヘルスケアの領域に特化した求人情報を提供する媒体『リジョブ』を運営）、エニーキャリア株式会社（薬局領域に特化した人材紹介事業『ファーマキャリア』等を運営）、株式会社タイズ（メーカー領域に特化した人材紹介事業『タイズ』を運営）、アルティメイトリソーシズグループ株式会社（コンサルタント領域に特化した人材紹介事業『URG』を運営）、株式会社アップベース（建設領域に特化した人材紹介事業『建設JOBS』、不動産領域に特化した人材紹介事業『リアルエステートWORKS』を運営）、株式会社オーサムエージェント（注）（運送領域に特化した求人情報を提供する媒体『ドラビタ』を運営）から構成されております。

株式会社リジョブに関して、クライアントサイドでは事業所の採用ニーズは高い状態が継続し、新規顧客の獲得ペースも改善しております。ユーザーサイドにおいては求職者の動向は堅調に推移しております。

株式会社タイズに関して、クライアントサイドでは採用ニーズは引き続き堅調に推移しており、求職者ニーズも同様に堅調に推移しております。

その他事業に関して、全体として採用ニーズは堅調であり、求職者ニーズも同様に堅調に推移しております。

（注）株式会社オーサムエージェントは2025年10月1日付で株式会社三光アドを吸収合併しております。

旧株式会社三光アドの業績貢献分は、2026年3月期第2四半期まではLife Service、2026年3月期第3四半期以降はVertical HRの株式会社オーサムエージェントに含めております。

b. Living Tech

Living Techは、『賃貸スモッカ』や株式会社ビヨンドボーダーズが運営する越境不動産取引事業『SEKAI PROPERTY』等の不動産に関連するメディア、リフォーム会社比較サイト『リショップナビ』やプロパンガス会社比較サイト『エネピ』等のライフサポートに関連するメディアから構成されております。

『賃貸スモッカ』に関して、クライアントサイドにおけるインターネット広告出稿需要は堅調である一方で、ユーザーサイドにおいては、インフレに伴う支出抑制影響等もあり、引越し需要はやや減退しております。

『SEKAI PROPERTY』に関して、物件の仕入れ状況は引き続き堅調に推移しております。ユーザーサイドに関して、海外不動産需要は堅調に推移しています。

『リショップナビ』や『エネピ』等のライフサポート領域に係るクライアントサイドにおいては、インターネット広告出稿需要は堅調に推移しております。ユーザーサイドにおいては物価上昇の影響により、リフォーム需要は減退傾向にあります。一方で、物価上昇に伴う節約需要の高まりにより、光熱費の切替需要は増加傾向にあります。

c. Life Service

Life Serviceは、主に個人ユーザー向けのフランチャイズ比較サイトである『フランチャイズ比較.net』、結婚相談所比較サイト『結婚相談所比較ネット』等の比較メディア事業や株式会社アップルワールド（旅行会社向けホテル予約媒体『アップルワールド』、旅行会社向けホテル予約媒体『Rikisha Easy REZ!』等を運営）等から構成されております。

比較メディア事業において、クライアントサイドにおける広告出稿需要およびユーザーサイドの動きは安定的に推移しております。

株式会社アップルワールドに関して、ユーザーサイドにおいては、国内旅行需要は堅調に推移している一方で、海外渡航需要のやや伸び悩みを示しています。クライアントサイドでは、レジャー領域において円安の影響により緩やかな推移となっているものの、業務渡航領域では比較的堅調に推移しております。

その他事業においては、株式会社CORDAを中心に、コンシューマ課金サービス、事業化を検討している新規事業を営んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は20,891百万円（前年同期比12.7%増）、売上総利益は16,830百万円（前年同期比10.8%増）、EBITDA※は5,394百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は4,161百万円（前年同期比1.1%増）、税引前四半期利益は4,192百万円（前年同期比2.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,893百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

（※）EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負ののれん発生益

（２）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は39,516百万円（前連結会計年度末比1,943百万円増）となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権が558百万円、のれんが2,615百万円、無形資産が700百万円増加した一方、現金及び現金同等物が1,990百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は18,153百万円（前連結会計年度末比531百万円増）となりました。これは主に、営業債務及びその他の債務が1,250百万円増加した一方、その他の金融負債が1,408百万円減少したこと等によるものであります。

（資本）

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は21,363百万円（前連結会計年度末比1,412百万円増）となりました。これは主に、利益剰余金が1,839百万円増加した一方、資本剰余金が764百万円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末より1,990百万円減少し、12,306百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、2,997百万円となりました。これは主に、税引前四半期利益の計上4,192百万円、減価償却費及び償却費の計上1,226百万円、法人所得税等の支払額1,634百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、3,749百万円となりました。これは主に、無形資産の取得による支出815百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,701百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1,242百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,400百万円、長期借入金の返済による支出1,638百万円、配当金の支払額1,053百万円、自己株式の取得による支出534百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に発表した「2025年3月期 決算短信」に記載の数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	14,295	12,306
営業債権及びその他の債権	5,029	5,587
その他の金融資産	2	7
その他の流動資産	625	751
流動資産合計	19,952	18,651
非流動資産		
有形固定資産	233	261
使用権資産	1,423	1,311
のれん	10,872	13,487
無形資産	2,893	3,594
その他の金融資産	1,225	1,447
繰延税金資産	973	758
その他の非流動資産	2	6
非流動資産合計	17,621	20,865
資産合計	37,573	39,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,657	2,473
営業債務及びその他の債務	3,831	5,081
その他の金融負債	5,791	4,380
未払法人所得税等	906	373
引当金	78	36
リース負債	542	690
その他の流動負債	1,621	1,960
流動負債合計	15,426	14,994
非流動負債		
借入金	617	1,678
引当金	197	226
リース負債	845	570
その他の金融負債	507	509
繰延税金負債	—	160
その他の非流動負債	30	16
非流動負債合計	2,195	3,159
負債合計	17,622	18,153
資本		
資本金	125	125
資本剰余金	4,532	3,768
利益剰余金	20,355	22,194
自己株式	△5,033	△4,699
その他の資本の構成要素	0	8
親会社の所有者に帰属する 持分合計	19,980	21,397
非支配持分	△29	△34
資本合計	19,951	21,363
負債及び資本合計	37,573	39,516

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	18,537	20,891
売上原価	△3,349	△4,061
売上総利益	15,188	16,830
販売費及び一般管理費	△11,120	△12,679
その他の収益	61	38
その他の費用	△12	△27
営業利益	4,118	4,161
金融収益	8	57
金融費用	△19	△26
持分法による投資損益(△は損失)	△0	0
税引前四半期利益	4,106	4,192
法人所得税費用	△1,299	△1,303
四半期利益	2,807	2,889
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,800	2,893
非支配持分	8	△4

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	27.47	28.95
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	27.46	28.94

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	2,807	2,889
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	7	9
純損益に振り替えられることのない項目合計	7	9
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3	1
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△3	1
その他の包括利益合計	4	9
四半期包括利益	2,812	2,898
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,804	2,902
非支配持分	8	△4

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2024年4月1日残高	125	4,969	17,159	△2,801	△4	19,449	—	19,449
四半期利益(△は損失)	—	—	2,800	—	—	2,800	8	2,807
その他の包括利益	—	—	—	—	4	4	—	4
四半期包括利益合計	—	—	2,800	—	4	2,804	8	2,812
新株予約権の行使	—	△11	—	247	△13	223	—	223
配当金	—	—	△676	—	—	△676	—	△676
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	△22	△22
自己株式の取得	—	—	—	△2,479	—	△2,479	—	△2,479
非支配株主に係る売建ブ ット・オプション負債の変動 等	—	△425	—	—	—	△425	—	△425
その他	—	△1	—	—	2	1	—	1
所有者との取引額合計	—	△437	△676	△2,232	△11	△3,357	△22	△3,379
2024年12月31日残高	125	4,532	19,283	△5,033	△12	18,896	△14	18,881

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2025年4月1日残高	125	4,532	20,355	△5,033	0	19,980	△29	19,951
四半期利益(△は損失)	—	—	2,893	—	—	2,893	△4	2,889
その他の包括利益	—	—	—	—	9	9	—	9
四半期包括利益合計	—	—	2,893	—	9	2,902	△4	2,898
新株予約権の行使	—	△6	—	108	△1	102	—	102
配当金	—	—	△1,054	—	—	△1,054	—	△1,054
自己株式の取得	—	—	—	△533	—	△533	—	△533
自己株式の消却	—	△759	—	759	—	—	—	—
その他	—	1	—	—	△1	0	—	0
所有者との取引額合計	—	△764	△1,054	334	△2	△1,486	—	△1,486
2025年12月31日残高	125	3,768	22,194	△4,699	8	21,397	△34	21,363

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,106	4,192
減価償却費及び償却費	1,020	1,226
金融収益及び金融費用(△は益)	11	△30
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△347	△362
前渡金の増減額(△は増加)	323	36
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	59	1,087
前受金の増減額(△は減少)	△265	98
預り金の増減額(△は減少)	192	△1,580
未払消費税等の増減額(△は減少)	△118	△44
その他	△75	11
小計	4,905	4,634
利息及び配当金の受取額	1	14
利息の支払額	△18	△24
法人所得税等の支払額	△1,340	△1,634
法人所得税等の還付額	360	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,908	2,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△135	△109
無形資産の取得による支出	△829	△815
投資有価証券の取得による支出	△169	—
敷金・保証金の回収による収入	43	15
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,027	△2,701
その他	8	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,108	△3,749
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200	△45
長期借入れによる収入	1,300	2,400
長期借入金の返済による支出	△1,400	△1,638
リース負債の返済による支出	△388	△473
新株予約権の行使による収入	223	102
配当金の支払額	△676	△1,053
自己株式の取得による支出	△2,481	△534
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,221	△1,242
現金及び現金同等物の換算差額	△0	5
現金及び現金同等物の増減額	△1,422	△1,990
現金及び現金同等物の期首残高	13,241	14,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,820	12,306

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、主としてインターネット関連事業並びにこれらに付帯する業務である「ライフサービスプラットフォーム事業」を展開しており、報告セグメントは1つであります。

(2) 報告セグメントの売上収益及び業績

報告セグメントの売上収益及び業績は次のとおりであります。

報告セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント ライフサービス プラットフォーム 事業	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客への売上収益	18,077	460	18,537	—	18,537
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	243	243	△243	—
計	18,077	703	18,780	△243	18,537
セグメント利益 (注) 2	4,065	66	4,131	△14	4,118
営業利益					4,118
金融収益					8
金融費用					△19
持分法による投資損益 (△は損失)					△0
税引前四半期利益					4,106

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。
2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算して算定しております。
3. 資産、負債及びその他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント ライフサービス プラットフォーム 事業	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客への売上収益	20,376	514	20,891	—	20,891
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	—	228	228	△228	—
計	20,376	742	21,119	△228	20,891
セグメント利益 (注) 2	4,021	137	4,158	3	4,161
営業利益					4,161
金融収益					57
金融費用					△26
持分法による投資損益					0
税引前四半期利益					4,192

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。
2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算し

で算定しております。

3. 資産、負債及びその他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。